

6月29日 (金)

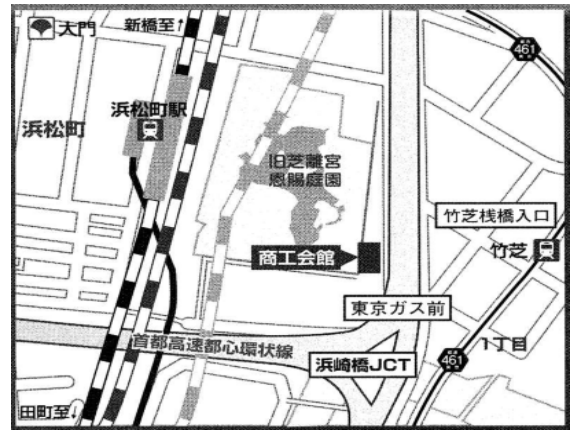
午後6時～9時

会場: 港区立商工会館2階研修室

東京都港区海岸 1-4-28 / 電話: 03-3433-0862

【最寄り駅】 JR 浜松町駅北口から竹芝栈橋方面へ徒歩7分

都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅 B2 出口より徒歩10分



◇ビデオ学習会

《731部隊の国家犯罪を裁く》

資料代500円

731部隊員の証言 / 第24回

今回の証言者は、731部隊航空班員だった志村九平さん。1941年11月4日の常德細菌戦に参加した。攻撃当日の様子を生々しく証言する。

解説: 近藤昭二さん (ジャーナリスト)

【講師紹介】

著書: 『731部隊・細菌戦資料集成』(柏書房 2003)、『死の工場—隠蔽された731部隊』(シェルダン・ハリス著、近藤昭二訳 柏書房 1999) ほか。

脚本: チェルノブイリ原子炉爆発事故前年に上映された日本の原発事故を取り上げた映画「生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言」(ATG 配給、主演・倍賞美津子)の脚本執筆。



《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦を構想した。1936年、細菌戦部隊の関東軍防疫部を設け、ハルビン郊外の平房に大規模な施設を建設。1940年、同施設を本部とする「関東軍防疫給水部」が設けられ、翌年から731部隊と呼ばれた。731部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。

細菌作戦は、1940年から42年まで中国の浙江省や湖南省などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも3万人を虐殺。44年以降は米軍に対しても細菌戦の発動を準備していた。

731部隊問題関連訴訟の裁判日程

傍聴をお願いします!

- ① 情報公開裁判(化学学校記事)【民事3部】(第7回) / 4月18日(水) 11:30 / 東京地裁522号法廷
 - ② 情報公開裁判(衛生学校記事)【民事51部】(第17回) / 4月24日(火) 15:00 / 東京地裁419号法廷
 - ③ 安倍靖国参拝違憲訴訟【東京高裁第10民事部】第1回 / 4月27日(金) 13:30 / 高裁101号法廷
 - ④ ビザ発給拒否・集会妨害国賠訴訟【民事1部】 / 6月8日(金) 10:30 / 東京地裁415号法廷
- *③と④の裁判では浙江省と湖南省の細菌戦被害者が原告になっています。

20180303

主催: NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター

(共同代表 近藤昭二[ジャーナリスト]・王選[細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授]・松井英介[医師])

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋 1-21-5 / Email: info@ichinoselaw.com 担当元永(もとなが)、小田,
Tel: 03-3501-5558 Fax: 03-3501-5565 / ◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>